

§6.10 定積分を用いる極限計算

定積分はリーマン和の極限值ですから、リーマン和の極限值を計算するために定積分を用いることがあります。

例題 正の自然数を表す変数 n の関数 $\frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \sqrt{\frac{4}{n}k+3}$ について、ある関数のリーマン和であることを説明して、 $n \rightarrow \infty$ のときの極限值を調べる。

数列 $\{x_k\}_{0 \leq k \leq n}$ を $x_k = \frac{4}{n}k+3$ ($k=0, 1, 2, 3, \dots, n$) と定める。この数列は公差が $\frac{4}{n}$ の等差数列であり、

$$3 = x_0 \leq x_1 \leq x_2 \leq x_3 \leq \dots \leq x_{n-1} \leq x_n = 7.$$

自然数 $k=1, 2, 3, \dots, n$ について、 $x_k - x_{k-1} = \frac{4}{n}$ なので $\frac{1}{n} = \frac{x_k - x_{k-1}}{4}$ 。よって、

$$\begin{aligned} \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \sqrt{\frac{4}{n}k+3} &= \sum_{k=1}^n \left(\sqrt{x_k} \frac{1}{n} \right) = \sum_{k=1}^n \left(\sqrt{x_k} \frac{x_k - x_{k-1}}{4} \right) \\ &= \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{\sqrt{x_k}}{4} (x_k - x_{k-1}) \right\}. \end{aligned}$$

これは関数 $\frac{\sqrt{x}}{4}$ のリーマン和である。

$$\max\{x_1 - x_0, x_2 - x_1, x_3 - x_2, \dots, x_n - x_{n-1}\} = \frac{4}{n};$$

これは $n \rightarrow \infty$ のとき 0 に収束する。よって関数 $\frac{\sqrt{x}}{4}$ のリーマン和

$\sum_{k=1}^n \left\{ \frac{\sqrt{x_k}}{4} (x_k - x_{k-1}) \right\}$ は $n \rightarrow \infty$ のとき定積分 $\int_3^7 \frac{\sqrt{x}}{4} dx$ に収束する。故に、

$$\begin{aligned} \lim_{n \rightarrow \infty} \left(\frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \sqrt{\frac{4}{n}k+3} \right) &= \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{\sqrt{x_k}}{4} (x_k - x_{k-1}) \right\} = \int_3^7 \frac{\sqrt{x}}{4} dx \\ &= \frac{1}{4} \int_3^7 x^{\frac{1}{2}} dx = \frac{1}{4} \left[\frac{2}{3} x^{\frac{3}{2}} \right]_3^7 = \frac{1}{4} \cdot \frac{2}{3} (7\sqrt{7} - 3\sqrt{3}) \\ &= \frac{7\sqrt{7}}{6} - \frac{\sqrt{3}}{2}. \end{aligned}$$

終

問題 6.10.1 正の自然数を表す変数 n の関数 $\frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \sqrt{\frac{5}{n}k+2}$ について、ある関数のリーマン和であることを説明して、 $n \rightarrow \infty$ のときの極限值を調べなさい。

例題 正の自然数を表す変数 n の関数 $\frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \cos \left\{ \frac{3\pi}{2n}(k-1) - \frac{\pi}{6} \right\}$ について、ある関数のリーマン和であることを説明して、 $n \rightarrow \infty$ のときの極限值を調べる。

数列 $\{x_k\}_{0 \leq k \leq n}$ を $x_k = \frac{3\pi}{2n}k - \frac{\pi}{6}$ ($k=0, 1, 2, 3, \dots, n$) と定める；この数列は公差が $\frac{3\pi}{2n}$ の等差数列であり、

$$-\frac{\pi}{6} = x_0 \leq x_1 \leq x_2 \leq x_3 \leq \dots \leq x_{n-1} \leq x_n = \frac{4\pi}{3}.$$

$x_k - x_{k-1} = \frac{3\pi}{2n}$ より $\frac{1}{n} = \frac{2(x_k - x_{k-1})}{3\pi}$ なので、

$$\begin{aligned} \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \cos \left\{ \frac{3\pi}{2n}(k-1) - \frac{\pi}{6} \right\} &= \sum_{k=1}^n \left\{ \cos x_{k-1} \cdot \frac{2(x_k - x_{k-1})}{3\pi} \right\} \\ &= \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{2 \cos x_{k-1}}{3\pi} (x_k - x_{k-1}) \right\}. \end{aligned}$$

これは関数 $\frac{2 \cos x}{3\pi}$ のリーマン和である。

$$\max\{x_1 - x_0, x_2 - x_1, x_3 - x_2, \dots, x_n - x_{n-1}\} = \frac{3\pi}{2n};$$

これは $n \rightarrow \infty$ のとき 0 に収束する。よって関数 $\frac{2 \cos x}{3\pi}$ のリーマン和

$\sum_{k=1}^n \left\{ \frac{2 \cos x_{k-1}}{3\pi} (x_k - x_{k-1}) \right\}$ は $n \rightarrow \infty$ のとき定積分 $\int_{-\frac{\pi}{6}}^{\frac{4\pi}{3}} \frac{2 \cos x}{3\pi} dx$ に収束する。故に、

$$\begin{aligned} \lim_{n \rightarrow \infty} \left[\frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \cos \left\{ \frac{3\pi}{2n}(k-1) - \frac{\pi}{6} \right\} \right] &= \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{2 \cos x_{k-1}}{3\pi} (x_k - x_{k-1}) \right\} \\ &= \int_{-\frac{\pi}{6}}^{\frac{4\pi}{3}} \frac{2 \cos x}{3\pi} dx = \frac{2}{3\pi} [\sin x]_{-\frac{\pi}{6}}^{\frac{4\pi}{3}} \\ &= \frac{2}{3\pi} \left\{ \sin \frac{4\pi}{3} - \sin \left(-\frac{\pi}{6} \right) \right\} = \frac{2}{3\pi} \left(-\frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{1}{2} \right) \\ &= \frac{1 - \sqrt{3}}{3\pi}. \end{aligned}$$

終

問題 6.10.2 正の自然数を表す変数 n の関数 $\frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \sin \left\{ \frac{7\pi}{6n}(k-1) - \frac{\pi}{3} \right\}$ について、ある関数のリーマン和であることを説明して、 $n \rightarrow \infty$ のときの極限值を調べなさい。

例題 正の自然数を表す変数 n の関数 $\sum_{k=1}^n \frac{6}{3k+4n}$ について、ある関数のリーマン和であることを説明して、 $n \rightarrow \infty$ のときの極限值を調べる。

自然数 k に対して

$$\frac{6}{3k+4n} = \frac{6}{n \left(\frac{3k}{n} + 4 \right)} = \frac{1}{n} \frac{6}{\frac{3k}{n} + 4}.$$

数列 $\{x_k\}_{0 \leq k \leq n}$ を $x_k = \frac{3}{n}k+4$ ($k=0, 1, 2, 3, \dots, n$) と定める。この数列は公差が $\frac{3}{n}$ の等差数列であり、

$$4 = x_0 \leq x_1 \leq x_2 \leq x_3 \leq \dots \leq x_{n-1} \leq x_n = 7.$$

自然数 $k=1, 2, 3, \dots, n$ について、 $x_k - x_{k-1} = \frac{3}{n}$ なので $\frac{1}{n} = \frac{x_k - x_{k-1}}{3}$ 。よって、

$$\sum_{k=1}^n \frac{6}{3k+4n} = \sum_{k=1}^n \left(\frac{6}{\frac{3k}{n} + 4} \frac{1}{n} \right) = \sum_{k=1}^n \left(\frac{6}{x_k} \frac{x_k - x_{k-1}}{3} \right) = \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{2}{x_k} (x_k - x_{k-1}) \right\}.$$

これは関数 $\frac{2}{x}$ のリーマン和である。

$$\max\{x_1 - x_0, x_2 - x_1, x_3 - x_2, \dots, x_n - x_{n-1}\} = \frac{3}{n};$$

これは $n \rightarrow \infty$ のとき 0 に収束する。よって、関数 $\frac{2}{x}$ のリーマン和

$\sum_{k=1}^n \left\{ \frac{2}{x_k} (x_k - x_{k-1}) \right\}$ は $n \rightarrow \infty$ のとき定積分 $\int_4^7 \frac{2}{x} dx$ に収束する。故に、

$$\begin{aligned} \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \frac{6}{3k+4n} &= \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{2}{x_k} (x_k - x_{k-1}) \right\} = \int_4^7 \frac{2}{x} dx \\ &= 2 [\ln |x|]_4^7 = 2(\ln 7 - \ln 4) = 2 \ln \frac{7}{4} \\ &= \ln \frac{49}{16}. \end{aligned}$$

終

問題 6.10.3 正の自然数を表す変数 n の関数 $\sum_{k=1}^n \frac{8}{4k+3n}$ について、ある関数のリーマン和であることを説明して、 $n \rightarrow \infty$ のときの極限值を調べなさい。